

がいこくせき けんみん かいぎ だい き
外国籍県民かながわ会議(第13期)

かいぎ はっぴょう しりょう
オープン会議(発表資料)

ねん がつ にち にちよう
2026年3月8日(日曜) 15:30~17:00

い い ん ち ょ う
＜委員長あいさつ＞

が い こ く せ き け ん み ん 外国籍県民 か い ぎ かながわ会議 だ い き (第13期)

い い ん ち ょ う 委員長 り ゅ 柳 ち ょ ん 晴 し る 実

かながわけん
<神奈川県あいさつ>

かながわけんぶんか かんこうきょくこくさいか
神奈川県文化スポーツ観光局国際課

かちょう まつもと ひろゆき
課長 松本 博行

せいかつ こうじょう ぶかい
生活向上部会

きょうぎ ないよう かん せつめい
協議内容に関する説明

せいかつ こうじょう ぶかい
<生活向上部会>

りゅ ちょん しる ぶかい ちょう いいん ちょう
柳 晴 実 (部会長・委員長)

い じゅうん いいん おう そう いいん
李 周殷 委員 王 爽 委員

くら はし いいん
倉橋 ジェラルデン 委員

ドン フン タオ いいん
ドン フン タオ 委員

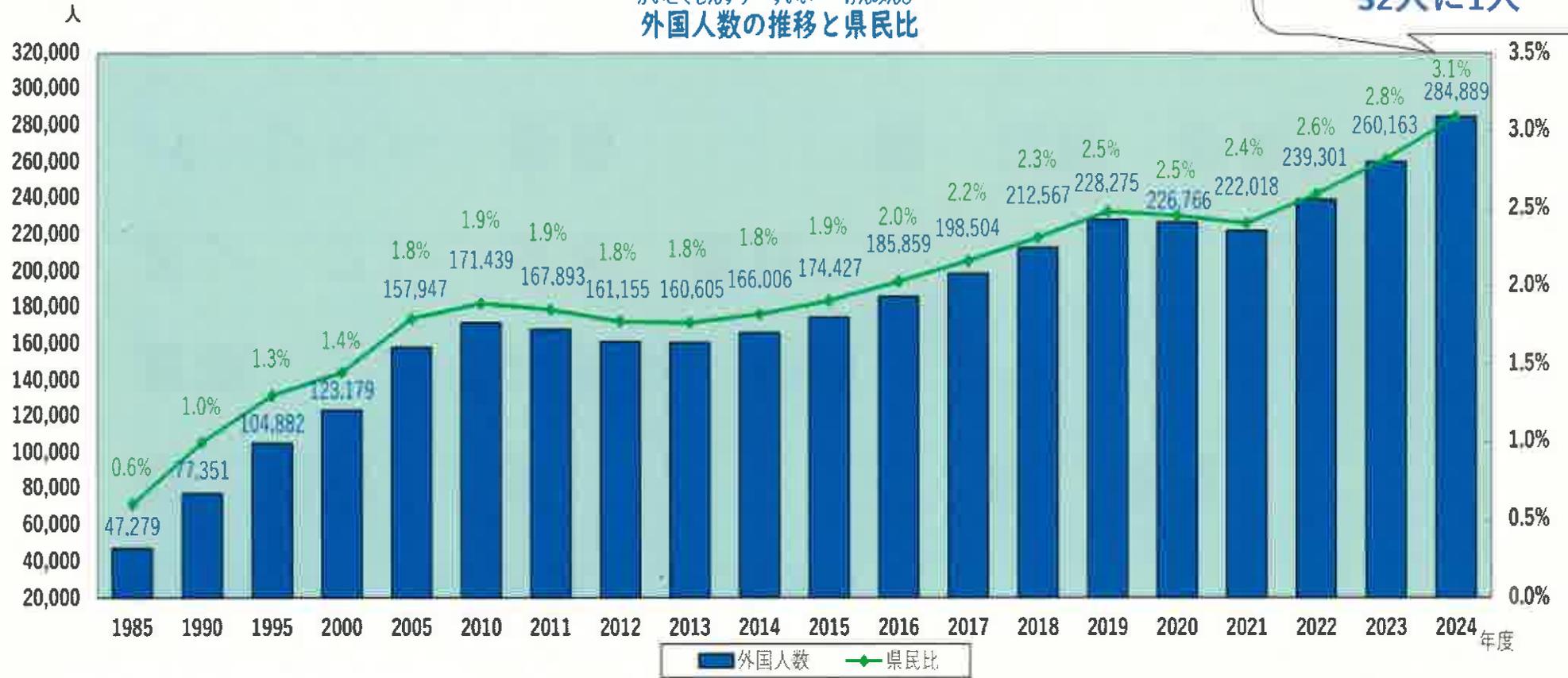
はん ちゃんひ いいん
バ ジベル 委員 韓 昌熹 委員

ゆ ばいれい いいん
俞 培麗 委員 李 方舟 委員

神奈川県内の外国籍県民の状況

2025年1月
 県民の3.1%
 32人に1人

外国人数の推移と県民比

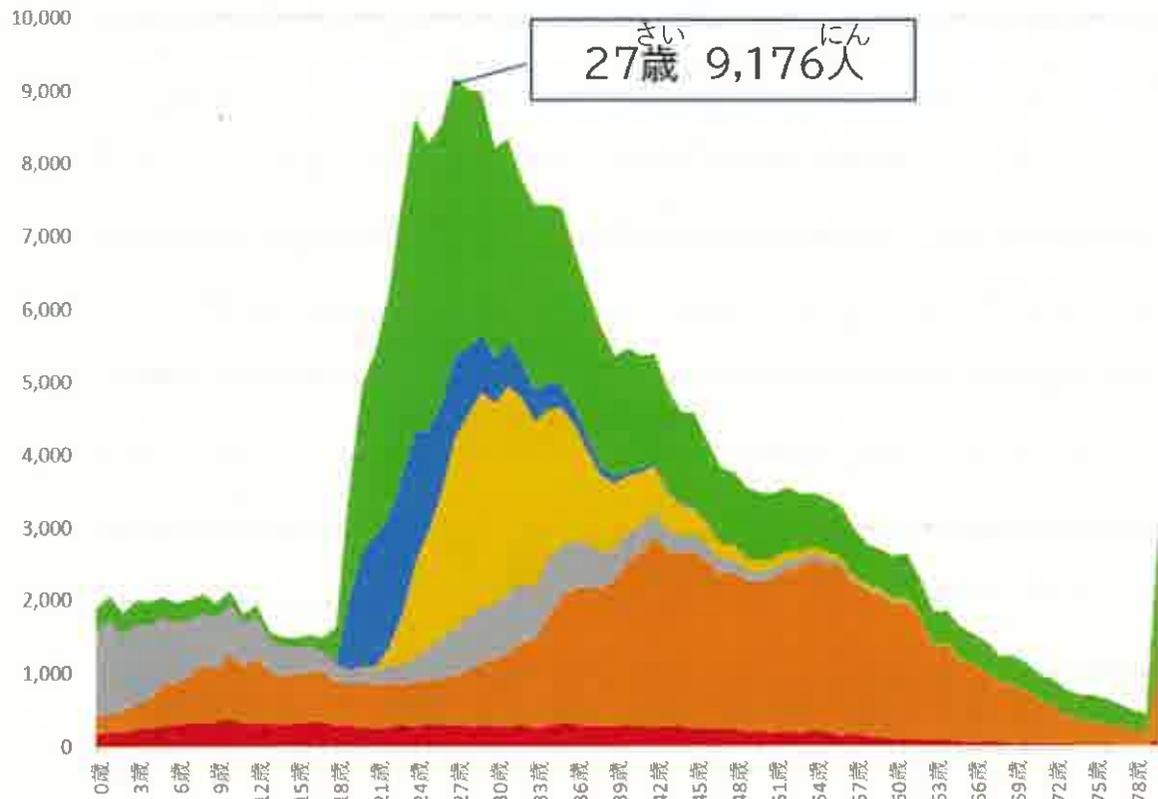


・2011年度までは外国人登録法に基づく外国人登録者数、2012年度以降は住民基本台帳上の外国人数
 (なお、2012年度までは12月31日現在、2013年度以降は1月1日現在のデータ)

(県国際課調査)

神奈川県内の外国籍県民の状況

県内外国人の年齢別在留資格



- 38: 定住者
- 33: 家族滞在
- 23-28: 技能実習1号-3号
- 35: 永住者
- 16: 技術・人文知識・国際業務
- その他

(在留外国人統計(令和6年末時点、出入国在留管理庁)から県国際課作成)

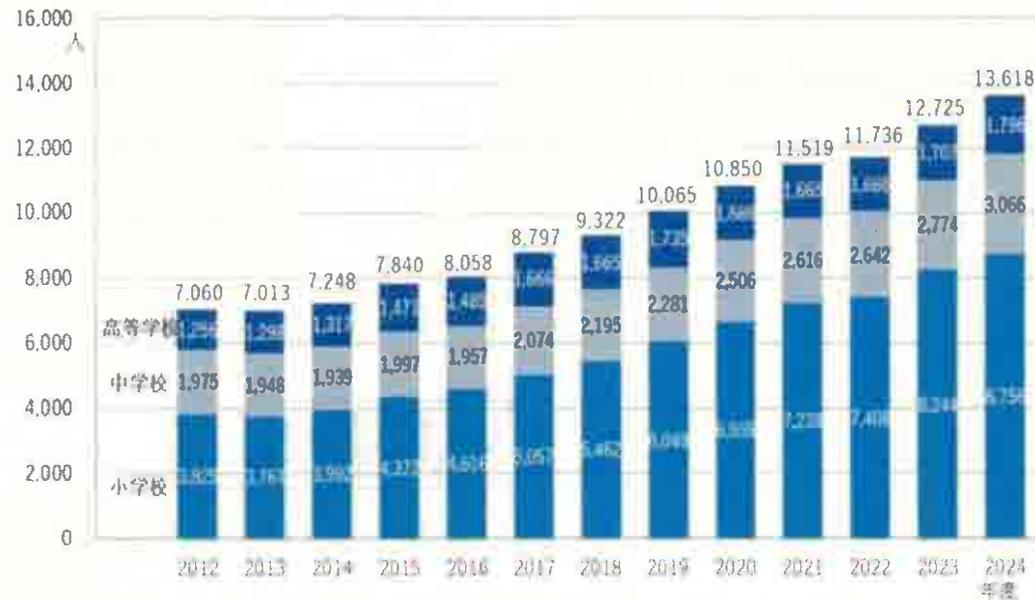
せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会①】

ぼご けいしやうご ぼぶんか きやういく きかい ほしやう
 <母語（継承語）・母文化教育の機会を保障し、
 こどもたちのアイデンティティを育成するための仕組みづくり>

ぼご けいしやうご ぼぶんか きやういく きかい ほしやう こ
**母語（継承語）・母文化教育の機会を保障し、子どもたち
 のアイデンティティを育成するための仕組みづくり**

はいけい
【背景】

ず けんない しょうがっこう・ちゅうがっこう・こうとうがっこう ざいせき がいこくじんじどうせいとう
 <図5 県内の小学校・中学校・高等学校に在籍する外国人児童生徒数>



ねん ど
2024年度

しょうがっこう にん
小学校： 8,756人

ちゅうがっこう にん
中学校： 3,066人

こうとうがっこう にん
高等学校： 1,796人

けい にん
計： 13,618人

注1) 国立、公立及び私立の小学校、中学校、高等学校（高等学校は、通信制の課程のみを置く学校を除く）の児童生徒数
 注2) 各年度5月1日現在

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－①】

ぼご けいしやうご ぼぶんか きやういく きかい ほしやう
<母語（継承語）・母文化教育の機会を保障し、
こどもたちのアイデンティティを育成するための仕組みづくり>

ていあん
【提案】

か な がわ けん がいこく こ
● 神奈川県として、外国につながる子どもの
ぼご けいしやうご ぼぶんか きやういく じゅうやうせい めいかくか
母語（継承語）・母文化教育の重要性を明確化する

ようしやうき ぼご ぼぶんか ふ
● 幼少期から母語・母文化に触れ、
まな きかい ほしやう じぎやう こうちく
学ぶ機会を保障するために事業を構築する

せいかつ こうじょうぶかい
【生活向上部会—①】

ぼご けいしやうご ぼぶんか きやういく きかい ほしやう
<母語(継承語)・母文化教育の機会を保障し、
こ いくせい しく
子どもたちのアイデンティティを育成するための仕組みづくり>

ていあん さいけい
【提案(再掲)】

- かながわけん がいこく こ ぼご けいしやうご ぼぶんかきやういく じゅうやうせい めいかくか
・神奈川県として、外国につながる子どもの母語(継承語)・母文化教育の重要性を明確化
- ようしやうき ぼご ぼぶんか ふ まな きかい ほしやう じぎやう こうちく
・幼少期から母語・母文化に触れ、学ぶ機会を保障するために事業を構築する

かだい
【課題】

- がいこく こ じぶん かぞく じしん も ひていてき
・外国につながる子どもたちのなかには、自分の家族やルーツに自信を持たず、否定的に
とら
捉えてしまうこともある
- しごと せいかつ お ほごしや かていない ぼご ぼぶんかきやういく じしん むずか
・仕事や生活に追われる保護者が家庭内で母語・母文化教育を実施することは難しい
- かながわ けんない ぼご きやうしつ ほうじん こじん じんりよく じしん ばあい おお
・神奈川県内の母語教室はNPO法人や個人の尽力により実施されている場合が多い

たぶんか きょうせいしゃかい みす けんりつこうこう きょういくじっせん 多文化共生社会を見据えた県立高校の教育実践

こくさい りかい きょういく ほご けいしょうご きょういく すいしん －「国際理解教育」と「母語（継承語）教育」の推進－

はいけい 【背景】

- かながわ けん がいこく こ ぞうか
・神奈川県における外国につながる子どもが増加している
- たぶんか きょうせいしゃかい じつげん もと
・多文化共生社会の実現が求められている

かだい 【課題】

- にほんじん こうこうせい いぶんか りかい きかい げんていてき
・日本人高校生の異文化理解の機会が限定的である
- げんこう こくさい りかいきょういく じかん ないよう ふじゅうぶん
・現行の国際理解教育は時間・内容ともに不十分である

せいかつ こうじょうぶかい
【生活向上部会－②】

ていあん ないよう
【提案の内容】

こくさい りかい きょういく じゅうじつ

国際理解教育の充実

- けんりつこうこう こくさい りかい こうざ せっち
・ 県立高校に国際理解講座を設置する
- がいこくじん こうし まね かっこく しゃかい けいざい ぶんか まな
・ 外国人講師を招き、各国の社会・経済・文化を学ぶ
- せかい み にほん しゃかい かんが
・ 世界から見た日本社会について考える
- かいがい こうこうせい たいめんこうりゅう すいしん
・ 海外の高校生とのオンライン／対面交流を推進する

ぼ ご けいしょうご きょういく すいしん
母語（継承語）教育の推進

- ぼご がくしゅう きかい がっこうきょういく なか ほしょう
・ 母語学習の機会を学校教育の中で保障する
- アイデンティティ形成を支援する
- だい がいこくご ぼご けいしょうご してん さいけんとう
・ 第2外国語を「母語・継承語」の視点で再検討する
- たぶんか じんざい いくせい
・ 多文化人材の育成につなげる

たぶんか きょうせいしゃかい みす けんりつこうこう きょういくじっせん
<多文化共生社会を見据えた県立高校の教育実践>

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－②】

たぶんか きょうせいしゃかい みす けんりつこうこう きょういくじっせん
<多文化共生社会を見据えた県立高校の教育実践>

こうか およ こんご てんぼう
【効果及び今後の展望】

- そうご りかい ふか たぶんか きょうせいしゃかい じつげん
相互理解を深める多文化共生社会の実現
- かいこく せいと じ こ こうていかん こうじょう
外国につながる生徒の自己肯定感の向上
- まな せいと ぜんたい こくさいてき しゃ かくたい
ともに学ぶ生徒全体の国際的視野の拡大
- きょういんいくせいおよ べんきょうかい じっし けいぞくてきはってん
教員育成及び勉強会の実施による継続的発展

こうりつ こうこう ざいけん がいこくじん とう とくべつ ぼしゅうわく かくだい がくしゅうしえん
公立高校の在県外国人等特別募集枠の拡大・学習支援

はいけい
【背景】

- れいわ ねんど かながわけん ざいけんがいこくじん とうとくべつぼしゅう
・令和4年度の神奈川県の在県外国人等特別募集（※）において、
しゅつがんしかく にゅうこくご ざいりゅうきかん ねん いない ねん いない へんこう しゅつがんしゃ ふ
出願資格が「入国後の在留期間が3年以内」から「6年以内」に変更され、出願者が増えた
- がいこく こくせき ゆう もの たいしょう がいこくご えいご こくご すうがく にゅうしかもく
※ 外国の国籍を有する者を対象にし、外国語（英語）、国語、数学を入試科目とする。

ていあん
【提案】

- こうりつこうこう ざいけんがいこくじん とう とくべつぼしゅう わく ふ
・公立高校の在県外国人等特別募集の枠を増やす
- こくご えいご すうがく かもく しゃかい りか がくしゅうしえん ふ
・国語、英語、数学科目だけではなく、社会と理科の学習支援も増やす

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－③】

こうりつこうこう ざいけんがいこくじんとうとくべつ ぼしゅうわくかくだい がくしゅうしえん
＜公立高校の在県外国人等特別募集枠の拡大・学習支援＞

ていあん ないよう
【提案の内容】

とくべつ ぼしゅうわく かくだい
特別募集枠の拡大について

- ・ 神奈川県在住の外国につながるの児童生徒が毎年増加している
 - ・ 日本の高校進学には受験が必要であるが、通常の受験枠の場合、
来日後すぐに高校へ進学することは難しく、フリースクールで1年間勉強し、
学年が下の生徒と同じタイミングで受験せざるを得ない
- 特別募集枠の拡大により、同じタイミングで教育を受けられる機会を与える必要がある

がくしゅうしえん
学習支援について

- ・ 海外から来日した子どもは、社会と理科の科目を苦手とする場合が多い
弱点を克服することで、日本の高校受験で選べる学校が増える

ざいりゅう こうしん ともな しよてつづき かん 在留カード更新に伴う諸手続に関する けんいき そうごうてき じょうほうていきょう たいせい せいび 県域での総合的な情報提供体制の整備

はいけい 【背景】

- ざいりゅう こうしんご
・ 在留カードの更新後には、
けんこうほけん ふくすう かんれん てつづき はっせい
マイナンバーカード、健康保険など複数で、関連する手続が発生する

かだい 【課題】

- 「いつ・どこで・何をすればよいか」が十分に伝わらず、
こうしん も おく せいかつ ぎょうせい りよう ししょう しょう じれい はっせい
更新漏れ・遅れにより生活や行政サービス利用に支障が生じる事例が発生している
- がいこくせきけんみん かいぎ たい き るいじ ていげん くに ようぼう じっし
・ 外国籍県民かながわ会議（第8期）でも類似提言があり、国への要望は実施したが、
けんいき わ あんないたいせい みせいび
県域としての分かりやすい案内体制は、未整備となっている

【生活向上部会－④】

ざいりゅう こうしん ともな しょてつづき かん けんいき そうごうてき じょうほうていきょうたいせいせいび
<在留カード更新に伴う諸手続に関する県域での総合的な情報提供体制の整備>

【提案の内容】

県域での総合的な情報提供体制の整備と関係者の周知・育成

- ・ 県が中心となり、市区町村窓口で

ざいりゅう こうしん ともな おも てつづき きほんてき ないよう あんない たいせい せいび
在留カード更新に伴う主な手続の基本的な内容を案内できる体制を整備するため、

情報の整理・共有、窓口担当者向けの周知・研修を推進する

- ・ 行政窓口で共通して使える案内ツールを整備する

県が担う役割の明確化

- ・ 既存制度を活かしつつ、県が情報を整理・つなぐ役割を担う

がいこくせき けんみん てつづき たい ふあん こうしん も ぼうし まどぐちたいおう ぎょうせいふたん けいげん
→ 外国籍県民の手続に対する不安・更新漏れの防止、窓口対応のばらつきや行政負担の軽減

がいこく うんてん めんきよ きりかえ てつづき こんざつかんわ む とりくみ
外国運転免許切替手続における混雑緩和に向けた取組

はいけい
【背景】

- がいこくせき けんみん ぞうか うんてんしゆ ぶそく たいおう はいけい がいこくうんてんめんきよきりかえ しんせい ぞうか
・ 外国籍県民の増加や運転手不足への対応を背景に外国運転免許切替の申請が増加している

かだい
【課題】

- よやく と たいき きかん ちょうきか しゅうろう にちじょうせいかつ えいきょう う じれい
・ 予約の取りづらさや待機期間の長期化により就労や日常生活に影響を受ける事例もある
- りようしゃ じっしかわ そうほう ふたん しょう じょうきょう
・ 利用者・実施側の双方に負担が生じている状況となっている

せいど
→制度そのものではなく、「運用面（混雑）」が課題となっている

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑤】

がいこくうんてんめんきょきりかえてつづき こんざつかんわ む とりくみ
＜外国運転免許切替手続における混雑緩和に向けた取組＞

ていあん
【提案】

こんざつかんわ む うんよう かいぜん けんとう
混雑緩和に向けて、運用改善を検討する

よやくほうほう み なお
予約方法の見直し

- しよるいしんさ ひっき しけん よやく どうにゆう ふく よやく ほうほう み なお
書類審査・筆記試験について、ネット予約導入を含めた予約方法の見直しをする
- たいぎ じかん たんしゆく てつづ えんかつか はか
待機時間の短縮、手続きの円滑化を図る

こんざつかんわ む とりくみ すいしん
混雑緩和に向けた取組の推進

- た じちたい じれい さんこう けんない じつじょう そく たいおう けんとう
他自治体の事例を参考に、県内の実情に即した対応を検討する
- じんいんはいち ぎょうむ うんよう しけんたいせい くふう じっこうかのう たいさく けんとう じっし
人員配置、業務の運用、試験体制の工夫など実行可能な対策の検討・実施をする

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑤】

がいこくうんてんめんきよまりかえてつづき こんざつかんわ む とりくみ
<外国運転免許切替手続における混雑緩和に向けた取組>

こうか
【効果】

りようしゃ りべんせい こうじょう げんぱふたん けいげん
・ 利用者の利便性向上と、現場負担の軽減

がいこくせきけんみん しゅうろう せいかつ あんてい
・ 外国籍県民の就労・生活の安定

※ ひつよう おう けん かんけい きかん れんけい げんぱ じつじょう きょうゆう かいぜん すす
※ 必要に応じて、県や関係機関と連携し現場の実情を共有しながら改善を進める

げんぱ じょうきょう ふ むり うんようめん くふう
→現場の状況を踏まえた無理のない運用面の工夫により、
りようしゃ じっし わ そうほう えんかつ せいど うんよう きたい
利用者・実施側双方にとって円滑な制度運用を期待

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑥】

がいこくせきけんみん あんしん ろうご ささ たげんごしえん かくじゅう
＜外国籍県民の「安心できる老後」を支える多言語支援の拡充＞

がい こく せき けんみん
外国籍県民の

あん しん ろう ご ささ た げん ご し えん かくじゅう
「安心できる老後」を支える多言語支援の拡充

かだい
【課題】

がいこくせきけんみん こうれいか すす
・外国籍県民の高齢化が進んでいる

にほん ふくざつ かいご ふくし せいど りかい こりつ ぞうか
→日本の複雑な介護・福祉制度を理解できないことによる孤立の増加

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑥】

がいこくせきけんみん あんしん ろうご ささ たげんごしえん かくじゅう
<外国籍県民の「安心できる老後」を支える多言語支援の拡充>

はいけい かだい
【背景と課題】

じょうほう ぶそく
情報不足

- ・ けん はっこう こうれいしゃ む おお にほんご
県が発行する高齢者向けガイドの多くが日本語のみとなっている
- せいど そんざい し がいこくせきけんみん すく
→ 制度の存在すら知らない外国籍県民も少ない

せいど りかい かべ
制度理解の壁

- ・ ぼこく かいご ほけんせいど
母国に介護保険制度がない
- にほんご ぶんしょう せいど しく ただ りかい こんなん
→ 日本語の文章だけでは制度のメリットや仕組みを正しく理解することは困難

こりつ
孤立のリスク

- ・ ことば ぶんか かべ ちいき と のこ
言葉や文化の壁により地域のコミュニティから取り残される
- にほん ろうご ふあん かか す じったい
→ 日本での老後に不安を抱えながら過ごしている実態がある

【生活向上部会－⑥】

がいこくせきけんみん あんしん ろうご ささ たげんごしえん かくじゅう
＜外国籍県民の「安心できる老後」を支える多言語支援の拡充＞

【提案の内容】

多言語での理解促進

- ・ 介護保険、医療、生活相談先を網羅した多言語版「外国籍県民向け高齢者支援チャート」を作成し、配布する。（参考：「子育てチャート」（かながわ国際交流財団作成））
- ・ 外国籍県民や家族等が日本の介護・福祉制度を理解するためのセミナーを定期的に実施する

多言語による「シニア向け相談・交流サロン」の設置の促進

- ・ 日本人とも交流できる「場」の提供を促進し、外国人高齢者がゆったりとくつろぎ、多言語で専門的なアドバイスを受けられるようにする

外国人高齢者の支援に関わる人を対象にしたセミナーの開催

- ・ 外国人高齢者の状況や、介護・福祉制度を正しく理解するためのセミナーを実施する

がいこくじんざいいくせい AI × 外国人材育成による

かながわけん きょうそうりよくきょうか すいしん 神奈川県グローバル競争力強化プロジェクトの推進

ていあん 【提案】

- がいこくじんざい いくせい ちいきていちゃく ぎじゆつ れんけい だんかいてき すいしん
・ 外国人材の育成と地域定着をAI技術と連携しながら段階的に推進する

※ AIは手段。運用では「人による判断・検証・改善」を前提に設計する

かだい 【課題】

がいこくじんざい いくせい ちいきていちゃく しえん けんないさんぎょう じぞくせい たか ひつよう
外国人材の育成と地域定着を支援し、県内産業の持続性を高める必要がある

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑦】

がいこくじんざいいくせい かな がわけん きょうそうりよくきょうか すいしん
<AI × 外国人材育成による 神奈川県グローバル競争力強化プロジェクトの推進>

ていあん ないよう
【提案の内容】

- かつよう にほんご しょくぎょう きょういく ていきょう
AIを活用した、日本語・職業スキル教育プラットフォームの提供
- しょくしゅ ぼ ご りかい ど おう がくしゅうないよう さいてきか かいご せいぞう いんしょく とう
・職種/母語/理解度に応じて学習内容を最適化する（介護・製造・飲食・IT等）
 - はつおんきょうせい じどう ほんやく かいわ れんしゅう れんけい
・発音矯正・自動翻訳つき会話練習アプリと連携する
 - レベル別カリキュラム + たっせいど がくしゅう けいぞく かいぜん
・レベル別カリキュラム + 到達度テスト + 学習ログで継続・改善させる

ぎょうせい きょういく きかんむ こうちく
行政・教育機関向けダッシュボードの構築

- がくしゅうしんちやく/ていちゃくじょうきょう/そうだんけいこう ぶんせき しさく かいぜん かつよう
・学習進捗/定着状況/相談傾向を分析し、施策改善に活用する

せいかつ こうじょうぶかい
【生活向上部会－⑦】

がいこくじんざいいくせい か な がわけん きょうそうりよくきょうか すいしん
<AI × 外国人材育成による 神奈川県グローバル競争力強化プロジェクトの推進>

こうか
【効果】

- ろうどうりよく かくほ こうれいか せいさんねんれいじんこうげんしょう そな ひつよう かいご ぶつりゅう けんせつ せいぞう とう
・ 労働力の確保：高齡化と生産年齢人口減少への備えが必要（介護・物流・建設・製造等）
- がいこくじん えら けん きぎょう えら けん じつげん ひと きょうどう たいけん こうじょう
『外国人に選ばれる県／企業に選ばれる県』を実現する（AI×人の協働で体験の向上）
- さいかい かんせんしょうじ たげんご れんらく きょうか ごじょうほうたいさく ぜんてい
・ 災害・感染症時の多言語連絡を強化する（誤情報対策を前提）
- きょういく がいこくじんざい こうりゅう かんこう ぼうえき にな て
・ 教育された外国人材が交流・観光・貿易の担い手になる

たいおうさく
【対応策】

- ごあんない ごぶんせき せいどかいしゃく しんせい かひ けんり ぎょうむ かなら ひと さいしゅうかくにん
・ 誤案内/誤分析：制度解釈・申請可否・権利義務は必ず人が最終確認する
- ひんしつかんり さんしょうさき ひょうじ かんさ とうめいせい かくほ
・ 品質管理：ログ/参照先の表示、レビュー、監査で透明性を確保する
- どうにゅうづか どうにゅう せいか きょうむ みなお うんようせつけい ふく こうか そうしゅつ
・ 導入疲れ：導入＝成果とせず、業務フロー見直しと運用設計まで含めて効果を創出する

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑧】

たぶんかこうりゅう かくじゅう
<多文化交流イベントの拡充>

たぶんか こうりゅう かくじゅう
多文化交流イベントの拡充

はいけい かだい
【背景と課題】

- がいこくせきけんみん ねんねんぞうか
外国籍県民は年々増加している
- にちじょうてき こうりゅう きかい じゅうぶん
日常的な交流の機会^は十分^{ではない}
- げんご ぶんか ちが ころつ ひと おお
言語や文化の違いにより孤立する人も多い
- げんざい みりょく さんか じゅうぶん
現在のイベントは魅力や参加のしやすさが十分^{ではない}

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑧】

たぶんかこうりゅう かくじゅう
<多文化交流イベントの拡充>

ていあん ないよう
【提案内容】

- ・ **テーマ型交流イベント**や**世代間・文化体験**
プログラムの実施を促進する
- ・ **広報と参加のしやすさ**を改善する

きたい こうか
【期待される効果】

- ・ **参加者数が増加**する
- ・ **相互理解**が促進される
- ・ **孤立の防止**となる
- ・ **災害時の支え合い**が強化される
- ・ **持続可能な多文化共生社会**が実現する

たぶんかきょうせい ぼうさい
多文化共生防災パートナーシップ (神奈川県モデル) 会議の創設

はいけい
【背景】

れいわ ねん がつ にち こうひょう しゅと ちよつかかた じしんとう とうきょう ひがい そうてい
令和4年5月25日に公表した「首都直下型地震等による東京の被害想定」など、
ぼうさいたいさく じゅうようせい さいにんしき
防災対策の重要性が再認識されている

げんじょう
【現状】

がいこくせきけんみん おお いそが せいかつ げんご かべ じゅうぶん ぼうさいたいさく
外国籍県民の多くは忙しい生活や言語の壁から十分な防災対策ができず、
ちいき ぼうさい うす
地域の防災ネットワークとのつながりも薄い

いっぽう ぼこく かんけい きかん だんたい た しょぞく おお
一方で、母国に関する機関・団体や、その他のコミュニティには所属していることが多い

かだい
【課題】

げんじょうはあく がいこくせきけんみん さいがいじ かくじつ しえん せいび
現状把握のうえ、外国籍県民が災害時に確実にアクセスできる支援ネットワークを整備し、
じじょ きょうじょ しく けいぞくてき きのう きゅうむ
自助・共助の仕組みを継続的に機能させることが急務である

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑨】

たぶんかきょうせいぼうさい
<多文化共生防災パートナーシップ (神奈川モデル) 会議の創設>

もくてき
【目的】

かながわ けんない がいこくせきけんみん さいがいじ しえん えんかつか
神奈川県内の外国籍県民への災害時支援を円滑化するため、
へいじ かんみん こくせきおうだん こうちく
平時から官民・国籍横断のネットワークを構築する

けいたい
【形態】

かながわけん たげんご しえん がいこくじん たいしかん こくさいこうりゅうきょうかい
神奈川県、多言語支援センターかながわ、外国人コミュニティ、大使館、国際交流協会、
きぎょう さんか たそうてき れんけい たいせい ととの ていきてき かいぎ おこな
企業、NPOなどが参加する多層的な連携体制を整え、定期的な会議を行う



へいじ さいがいじ やくわり うんえいかいぜん けいぞくてき けんとう
平時と災害時のネットワークの役割・運営改善について、継続的に検討する

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑨】

たぶんかきょうせいぼうさい
<多文化共生防災パートナーシップ (神奈川県) 会議の創設>

タスク ステップ (Task Step)

へいじ ねん かい
1. 平時 (年1～2回)

- けん ぼうさいじょうほう せいど きょうゆう
・ 県からの防災情報・制度の共有
- だんたいじょうほう せいり にんずう しえんりょく
・ 団体情報の整理 (人数・支援力など)
- こくせきべつだんたい かおあ
・ 国籍別団体との顔合わせ

さいがいじ
2. 災害時

- じょうほうでんたつ いっせいきどう
・ 情報伝達ラインの一齐起動
- かくだんたい じょうきょうはあく ひがい ゆくえふめい しえん いらい
・ 各団体へ状況把握 (被害・行方不明・支援ニーズ) の依頼
- ぶつし じんてきしえん うけいれまどぐち いっぽんか
・ 物資・人的支援の受入窓口を一本化
- だんたい がいこくせきけんみん じょうほうでんたつ
・ 団体から外国籍県民への情報伝達
- がいこくじん ひなんこうどうしえん
・ 外国人コミュニティの避難行動支援

さいがいご ふっきゅうき
3. 災害後 (復旧期)

- だんたい かだい しゅうしゅう
・ 団体から課題を収集
- がいこくせきけんみん
・ 外国籍県民のフォローアップ

【^{せいかつ こうじょう ぶかい}生活向上部会 - ⑨】

< ^{たぶんかきょうせいぼうさい}多文化共生防災パートナーシップ (^{かながわ}神奈川モデル) ^{かいぎ そうせつ}会議の創設 >

ネットワーク^{こうせいあん}構成案

【^{だい だんかい ちゅうかく}第1段階：中核^{だんたい}ネットワーク団体】

- ・ ^{こくさいこうりゅうざいだん}かながわ国際交流財団
- ・ ^{がいこくせきけんみん かいぎ}外国籍県民かながわ会議
- ・ ^{しちょうそん こくさいこうりゅうきょうかい}市町村の国際交流協会
- ・ ^{ちゅうきぼいじょう がいこくじんだんたい たいしかん ふく}中規模以上の外国人団体 (大使館を含む)
- ・ ^{みんかんきぎょう つうしん ぶつりゅう せいかつかんれん}民間企業 (通信・物流・生活関連)

【^{だい だんかい じつどう ちいき}第2段階：実働・地域^{ちいきかい}レベルのネットワーク】

- ・ ^{ざいにち じん}在日〇〇人コミュニティ (^{ちいきかい}地域会など)
- ・ ^{しょうてんがいれい ちゅうかがい}商店街 (例：中華街)
- ・ ^{りゅうがくせいだんたい がくせいかい}留学生団体 (学生会など)
- ・ ^{たぶんか ふくし ぼうさいぶんや}NPO/NGO (多文化・福祉・防災分野)

せいかつ こうじょう ぶかい
【生活向上部会－⑩】

がいこくせきけんみん しんり しえん
＜外国籍県民への心理支援＞

がい こく せき けんみん しんり しえん
外国籍県民への心理支援

はいけい かだい
【背景・課題】

- ・ (公財) 日本生産性本部の調査によると、20～30%の人がメンタルヘルスの問題を抱えている
- ・ 外国人は言語の壁や社会統合の課題により、メンタルヘルスの問題を抱えやすい

ていあん ないよう
【提案の内容】

- ・ メンタルヘルスをテーマにした外国籍県民の互助会と心理相談ホットラインを設立し、外国籍県民を対象に、定期的な心理サポート活動を行う
- 外国籍県民のメンタルヘルスの維持を図る

(参考)

- ・ 他行政：週に数時間、心理的支援と通訳対応を行う電話相談ホットラインを設置
- ・ 日本精神保健福祉士協会：通訳対応を含む心理支援ホットラインを提供

せいかつ こうじょう ぶかい
生活向上部会

きょうぎ ないよう かん しつぎ おうとう
協議内容に関する質疑応答

て あ しめい はつげん
手を挙げて指名されたらご発言ください。

じょうほう ぶかい
情報部会

ぎょうぎ ないよう かん せつめい
協議内容に関する説明

じょうほうぶかい
<情報部会>

サンティステバン オオシロ
マレナ ルイサ (部会長・副委員長)

しょう こうめい いいん
蔣 香梅 委員

ストービー ステュアート 委員

ハリソン ジョナサン 委員

まつむら いいん
松村 エレーナ 委員

いいん ふく いいんちょう
モラレス ハイメ 委員 (副委員長)

じょうほうぶかい
【情報部会－①】

がいこくじんせいと ほごしゃ こうこうじゅけんじょうほう はっしん
<外国人生徒の保護者のための高校受験情報の発信>

がいこくじんせいと ほごしゃ こうこうじゅけんじょうほう はっしん
外国人生徒の保護者のための高校受験情報の発信

はいけい
【背景】

- がいこくじんせいと ほごしゃ にほん こうこうじゅけん わ せいど
・外国人生徒の保護者にとって、日本の高校受験は分かりにくい制度となっている
- ひつよう じょうほう じゅうぶん つた げんじょう
・必要な情報が十分に伝わっていない現状がある
- にほんご わ せつめい しく ひつよう
・やさしい日本語と分かりやすい説明の仕組みが必要

じょうほう ぶかい
【情報部会－①】

がいこくじんせいと ほごしゃ こうこうじゅけんじょうほう はっしん
<外国人生徒の保護者のための高校受験情報の発信>

かだい
【課題】

- せんもん ようご おお れい ないしんてん ひょうてい すいせん にゅうし
・ 専門用語が多い (例：内申点、評定、推薦入試 など)
 - がっこう せつめい せいとむ ちゅうしん
・ 学校の説明は生徒向けが中心になりやすい
 - こ りかい ばあい ほごしゃ ただ つた
・ 子どもが理解できない場合、保護者に正しく伝わらない
 - じょうほう しゅうやく しりょう しゅうち ふそく
・ 情報が集約されているウェブサイトや資料の周知が不足している
- じょうほうぶそく ふあん かん かてい
→ 情報不足により、不安を感じる家庭もある

- ないしんてん ねんせい つ かせ ばあい
・ 内申点は1年生から積み重なる場合がある
 - ねんせい せいせき とく じゅうし
・ 3年生の成績が特に重視される
 - しんろ きゅう き
・ 進路は急に決められない
- ちゅうがく ねんせい すこ せつめい じゅうよう
→ 中学1年生から少しずつ説明することが重要

じょうほうぶかい
【情報部会－①】

がいこくじんせいと ほごしゃ こうこうじゅけんじょうほう はっしん
<外国人生徒の保護者のための高校受験情報の発信>

ていあん ないよう

【提案の内容】

- 既存のウェブサイトや資料の活用促進
きそん しりょう かつよう そくしん
- やさしい日本語で説明する
にほんご せつめい
- 図やイラストを活用する
ず かつよう
- 中学1年生から段階的に説明する
ちゅうがく ねんせい だんかいてき せつめい
- 学校を通して全家庭に資料を届ける
がっこう とお ぜんかてい しりょう とど
- 地域団体やNPOと連携する
ちいきだんたい れんけい

がいこくせきけんみん せいかつ じゅうじつ 外国籍県民に対する生活オリエンテーションの充実

はいけい かだい 【背景と課題】

- かながわけん がいこくせきけんみん ぞうか たようか
・神奈川県では外国籍県民が増加し、多様化している
- いりょう きょういく ぼうさい ぎょうせいてつづき じょうほう かくだい
・医療・教育・防災・行政手続などの情報ニーズの拡大
- せいど げんご じょうほうけいろ ちが かつよう すす
・制度があっても言語や情報経路の違いで活用が進んでいない
- しちょうそんかん じっしじょうきょう さ しえんすいじゅん
・市町村間で実施状況に差があり、支援水準にばらつきがある

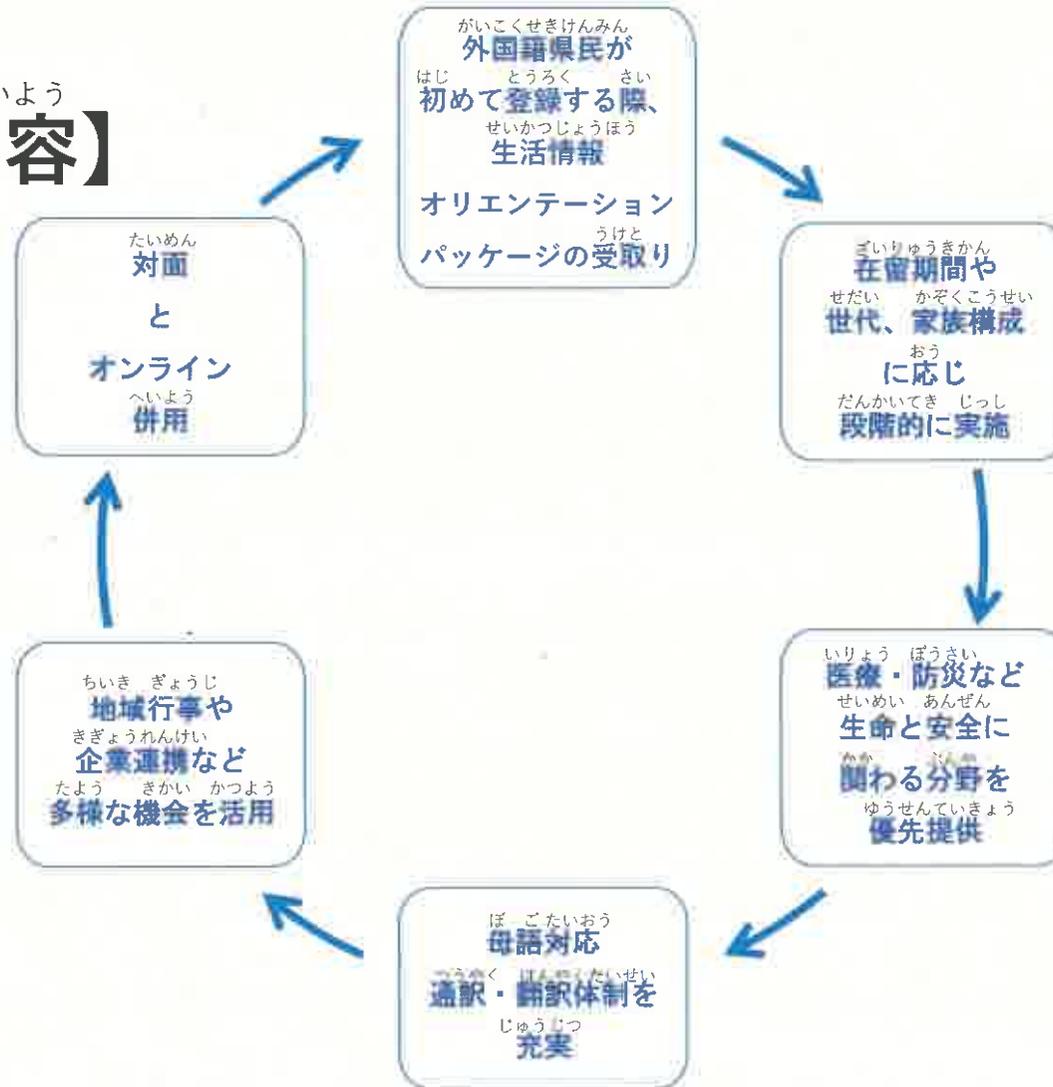
ていあん 【提案】

- せいかつ ひつよう き そじょうほう たいけいてき けいぞくてき ていきょう しく こうちく
・生活に必要な基礎情報を体系的・継続的に提供する仕組みを構築する
- う て してん た りかい さんか かたち じっし
・受け手の視点に立ち、理解しやすく参加しやすい形で実施する
- たよう しゅたい れんけい ちいきぜんたい ささ たいせい めざ
・多様な主体と連携し、地域全体で支える体制を目指す

じょうほう ぶかい
【情報部会－②】

がいこくせきけんみん たい せいかつ じゅうじつ
<外国籍県民に対する生活オリエンテーションの充実>

ていあん ないよう
【提案の内容】



じょうほう ぶかい
【情報部会－②】

がいこくせきけんみん たい せいかつ じゅうじつ
<外国籍県民に対する生活オリエンテーションの充実>

こうか
【効果】

- がいこくせきけんみん ふあん けいげん
・外国籍県民の不安軽減
- さいがいじ きんきゅうじ てきせつ こうどう
・災害時・緊急時の適切な行動につながる
- ちいき つよ きょうせいしゃかい けいせい きよ
・地域とのつながりが強まり、共生社会の形成に寄与できる

こんごかいけつ かだい
【今後解決すべき課題】

- たげんご つうやくじんざい かくほ
・多言語、通訳人材の確保
- けいぞくてき じっし ざいげん たいせい
・継続的に実施するための財源と体制
- たいしょうしゃ かくじつ じょうほう とど しゅうち
・対象者へ確実に情報を届ける周知
- ちいき かんけいきかん ちうせい
・地域や関係機関との調整

じょうほう ぶかい
情報部会

きょうぎ ないよう かん しつぎ おうとう
協議内容に関する質疑応答

て あ しめい はつげん
手を挙げて指名されたらご発言ください。

ほんじつ
<本日のまとめ>

ほんじつ さんか
本日はご参加いただき、
ありがとうございました。

いけん
いただいたご意見は、
こんご ていげん む さんこう
今後の提言に向けた参考と
させていただきます。